

レポート 飲食店で進むユニフォームレンタルのメリットとは

スタッフ人員の多い大箱居酒屋だからこそ 枚数管理のしやすいレンタルユニフォームが最適！

モップやマットなどのクリーン関連商品や、AED 機器のレンタルをするダストコントロール事業の他、ユニフォームのレンタル事業も行うサニクリーン。毎日利用するユニフォームは店の清潔感や雰囲気づくりに直結する、店の顔ともいえるアイテムだ。

ユニフォームレンタルのメリット、サニクリーンを支持する理由を、JR 長野駅前の居酒屋「樺屋びくら」店長の池上春午氏に聞いた。

統一感を維持しながら 個性が出るユニフォームに

1997年にJR 長野駅前のビル10階で創業した「樺屋びくら」。長野を一望できるロケーションと、大小個室を14室も用意することで、ハレの日や小接待にも利用できると、地元会社員や地元客に長く愛され続ける居酒屋だ。また新幹線駅に近いことから、出張に訪れるたびに利用する遠方客など、幅広い客層から支持されている。

食事は信州の食材を中心に、全国から取り寄せた旬の野菜や魚介を日替わりで提供。夏はいけすから取り出してさばくイワナの刺身や、居酒屋ながらキャビア、フォアグラといった高級食材も味わうことができる。

同店がサニクリーンのレンタルユニフォームを導入したのは23年前。それ以前は、下はスタッフの自前、上は別会社のユニフォームをレンタルし、エプロンは店で購入して貸与していたという。「エプロンは各自家で洗ってきってもらう方法を取っていたのですが、当時アルバイトだけで40人もいたので、枚数不足や辞めたときに回収できないといった問題がありました。その後、店で洗おうとしたのですが、干す場所も確保できないので現実的じゃない。とにかく枚数を管理するのに、手間とコストがかかっていたのです」と池上氏。

そこで、オープン当初からレンタルマットで付き合いのあったサニクリーンに相談。コストを照らし合わせた結果、安くなることから採用を決めた。

ユニフォームはホール、キッチン、洗い場でデザインを変更。また頭部はキャップ、バンダナなどから選べる他、エプロンは色や形状を個人に選んでもらっている。ユニフォームで統一感を出しつつ、一部アイテムを選べるようにすることで、スタッフの個性が出るようにしているのだ。

レンタルだからこそ衛生管理もでき デザイン変更時のコストを抑制

「社員の場合キッチン4枚、ホールは3枚を貸与し、週2回の回収で契約しています。アルバイトは1日最大15人入るので、シフト状況を鑑みながら、ひと月ごとに人数を調整して、ユニフォームを用意してもらっています。レンタルだからできるメリットですね。

また以前のように管理をしなくて済むため、ユニフォームの枚数が足りないなど、余計なことを気にしなくて済むようになりました。スタッフからは、汚れてしまっただけで枚数が足りなくなったなど、言い出しづらいこともレンタルだから



ホールスタッフのユニフォーム。店で着るユニフォームを自前で用意したり、自宅で洗う必要がないため、アルバイトからも働きやすいと好評だ



キッチンスタッフはコックコートを着用。汚れが目立たないよう、濃いグレーを採用する。一方で洗い場は漂白剤などで色落ちしやすいため、白色にしている

ら気軽にいえるとの声が上がっています。また、繁忙期と閑散期で枚数の契約変更ができるので、コストコントロールもしやすいので助かっています（池上氏）

サイズ交換やデザイン変更に対応してくれる点も、サニクリーンのメリット。購入の場合は、スタッフの増減に対応するためにサイズを幅広く用意することや多めに枚数を在庫する必要

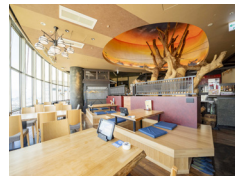
があるが、レンタルなら変更手続きをすることで済むので、コストを抑制することができる。

「飲食店は、清潔感が第一。サニクリーンさんは定期クリーニングなので、衛生レベルの維持ができます。アルバイトも自前で服を用意したり、家に持ち帰って洗ったりする必要もないので、何も持たず出勤できて楽と評価していますね」と池上氏は話した。

自分で用意しなくてもいいため 働く側からも高評価！



頭部のキャップやバンダナ、エプロンのデザインや色はスタッフの好みで選べるようにし、個性が出るように配慮する



樺屋びくら

住所 長野県長野市末広町1355-5ウエストプラザ長野10階
TEL 026-264-7717
営業時間 15:00~23:00
定休日 日曜日(年末年始除く)
ホームページ <https://www.bikura.com>



お問い合わせ
ユニフォームレンタルに関する各種お問い合わせや
お見積り、資料請求はこちらから。
0120-792-578 土・日・祝日を除く10:00~16:00